

# 釈迦殿を讀める

扉を左右に開くと

静かな明るさにみちた空間がひろがる

私の目がひろがり 心がひろがる

ひろがついていく私の心を迎える

王三昧

書は文字の意味をこえて

筆者の禅定の姿をあらわし

ここですする一杯の茶にも

筆者の心境のしたたりが溶けている

階段を昇ると

須弥壇上 三千仏を背に

お釈迦様がお坐りになっておられる

お坐りつづけて二千年

激しく揺れ動く現実世界の

微妙なバランスの秘密をここに見る

赤間 義徳(檀徒)



善光寺開創十五周年

昔風にいうなら元服の年

折からおうし座オリオン星雲の暗黒星雲の中に

新たな太陽系が生まれつつあるという

ここにも新たな光が生まれつつある

黒田大円方丈は

未来に向かって開かれた仏法を説く

耳を澄ますと

仏天蓋ぼつてんがいより降る黄金きんごの光の雨の中

新たな仏法の音楽が響いてくる

釈迦牟尼仏を太陽に

涅槃へ導くシンフォニーの最初の音が響いてくる

